

友部リトルシニア野球チーム(中学硬式)が 東アジアリトルシニア宮崎大会で見事優勝!

友部リトルシニアが、東関東支部大会の秋季大会での準優勝や春季大会ベスト4(以降、東日本大震災のため中止)などの好成績が認められ、関東連盟の代表枠を獲得。台湾選抜、韓国選抜ほか全国各地からの強豪24チームが集結し8月15日～17日に行われた第1回アジアリトルシニア宮崎大会(国際大会)に出場しました。

予選リーグでは、札幌南(北海道)および韓国選抜と対戦し、それぞれ圧勝し、決勝トーナメントへ進出しました。決勝トーナメントでは、準決勝で大分西南(九州)を、準決勝で泉佐野(関西)をいずれも序盤リードされながらも、終盤に逆転し決勝へ進出しました。決勝では、宮崎(九州)と対戦し、4点ビハインドから途中で追いつき、延長戦の末8回サヨナラ勝ち(5-4)で見事優勝しました。

友部リトルシニアは、はらだ あきひろ原田明広監督(元巨人)の指導の下、市内を含む55名の中学生が畜産試験場跡地にあるグラウンドで土曜日と日曜日に練習しています。原田監督は、野球ばかりではなく、あいさつなど人とのコミュニケーションを大切にしておき、「成績だけではなく、あいさ

つなど礼儀正しさなども考慮され代表に選ばれたと思う。」また、「3年生は最後の試合で、1日でも長く野球をやりたいという思いで、最後まであきらめずにプレーできたことがこのような成績につながった。」と語ってくれました。

今後は、さらに練習に励み、神宮球場で来年夏に行われるリトルシニア選手権での優勝を目指しています。



優勝した友部リトルシニア野球チーム

友部中学校が相撲団体で関東大会優勝

神奈川県三浦市若宮相撲場で行われた関東大会(8月6日)の相撲団体で友部中学校が茨城県勢では初の優勝を果たしました。また、兵庫県姫路市で行われた全国大会(8月20日・21日)でも、予選で3連勝し、決勝トーナメントまで進出しました。

友部中学校相撲部は、各運動部の部員の協力を得てチームを編成し、顧問の塩幡秀樹先生の指導の下、大会に向け5月から週2日～3日のペースで放課後に練習を重ねてきました。また、友部相撲スポーッ少年団の村上寿之さん、市相撲連盟や地域の皆さん、相撲部の先輩など多くの方々のご協力により力をつけてきました。

7月に行われた県大会(水戸市)では、先鋒、中堅、大将が安定した力を発揮し新人戦に続いて優勝、新人戦・総体6連覇を果たしました。

関東大会では、予選で3連勝しベスト16入りし決勝トーナメントに進出、1回戦では、強豪若草中(栃木)に勝利し、2回戦では、野川中(神奈川)に勝利しました。準決勝では、優勝候補の大道中(東京)に勝利し、決勝では昨年の優勝校谷塚中(埼玉)に勝利して、昨年の雪辱を果たし茨城県勢では初の相撲団体での優勝となりました。

全国大会では、決勝トーナメントに進出しましたが、1回戦で金井中

(新潟)に破れ、惜しくも涙をのみました。また、個人戦では、予選で川井誉久君(3年)が3戦全勝、石川学君(2年)が2勝1敗で決勝トーナメントに進出し、川井誉久君がベスト16と善戦しました。

塩幡先生は、「全国トップレベルの相撲を経験できたことは大きい。また、取組一番一番に集中できたことが、この成績につながった。」と話してくれました。



関東大会で優勝し、ガッツポーズをとる選手たち
左から、塩幡先生、村田一郎君(1年)、石川学君、今泉校長、川井誉久君